

文庫めぐり

(17)

文教大学越谷図書館池田文庫

〔来歴と概要〕 図書館の一階右手に漢籍室が設けられていて、ここに池田文庫が収蔵されている。

〔この度の大学に納めた池田文庫は先考の蒐輯が五十年、不肖が継承してから已に六十年、前後合わせると一百年と随分と長い期間のものとなる。この中、昭和八年（一九三三）までのものは先考の需めたもので中国の版本や江戸期の線装本の価値あるものを含む。不肖はこの基礎の上に立っていささか近現代のものを加えた。就中、二代にわたる「史記研究参考資料」の蒐集は凡そ四百種に及んでいる〕
 本文庫の特徴は、この文章につきている（池田英雄「先考蘆州の学風と蔵書に思う」、『漢籍コレクション目録』から）。

池田四郎次郎は、元治元年（一八六四）大阪生まれ、蘆州と号した。『史記補注』の著者として名高い。『史記補注』完成間近にして昭和八年に急逝。ご子息の英雄氏の増補校訂によって、昭和五十年に明德出版社から公刊される。

本文庫に収められているのは漢籍全般におよぶが、やはり『史記』に関する資料が充実している。それらを自由に手にとって見るができる。たとえば、自筆稿本の『扁

鵠倉公列伝集解』（山田業広著）は、端正な字体と、誤字訂正の朱墨と、句点の青墨とで、まるで美術品のようである。これを手にとってじっくり鑑賞できるのだから、研究者にとっては至福の極みである。

漢籍室には、元秋田大学教授・秋田経済大学教授の田口福司朗（一九八六～一九八五）の蔵書も寄託されている。

また、元文教大学教授の水沢利忠（一九一八～）の蔵書の一部も寄託されているが、目録はまだ作成されていない。

〔目録〕 『池田蘆州・田口福司朗旧蔵漢籍コレクション目録』（一九九六年発行）

〔開館時間〕 平日は九時から二十時。土曜日は九時から十六時

〔休館日〕 日・祝祭日と館内整理日

〔所在地〕 埼玉県越谷市南荻島三三三七

電話 048-970-811

図書館ホームページ

<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/ih/>

〔利用法〕 受付にて申し込むだけで、学生・一般を問わず誰でも閲覧が可能である。文教大学越谷図書館では、一般書の図書貸し出しのサービスもあるので、身分証明書を持つ参ること（ただし、近隣の居住者にかぎる）。

（宮川 浩也）